

# 令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

南住吉

小学校

児童数

131

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.33	18.76	32.47	42.68	52.17	9.35	148.54	22.61	53.10
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	14.78	18.54	37.69	40.75	41.57	9.61	143.28	14.40	55.50
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

## 結果の概要

8種目中、男子は4種目、女子は6種目において全国平均を上回るか比肩するかという結果であった。

昨年度と比較して、男子、女子ともに3種目で平均値が上がっている。特に、男子の20mシャトルラン、50m走については、昨年度、大阪市平均、全国平均を下回っていたことから考えると、大きな伸びを感じることができる。

一方、握力では男子、女子ともに大阪市平均、全国平均を下回る傾向が続いている。

また、体力合計得点を見ると、全国平均をわずかに下回るものの、大阪市平均は上回る結果となっている。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科を研究教科として取り組んで以来、業間の20分休憩や昼休み（水曜日は10分延長）を利用して運動遊び（鬼ごっこ・長縄など）を中心とした学級遊びを行い、運動の習慣化に努めてきた。

ここ数年は、校舎の建て替え工事のため、地域のグラウンドを借りての活動であったが、広いグラウンドを所狭しと走り回る姿が見られた。12月に運動場の整備も終了し、運動場だけでなく、ジャングルジムや鉄棒などの遊具でも盛んに遊んでいる。これらの姿や「運動やスポーツをすることが好きですか」という質問に対し肯定的な回答をする児童が多いことから、運動習慣は身についていると言える。

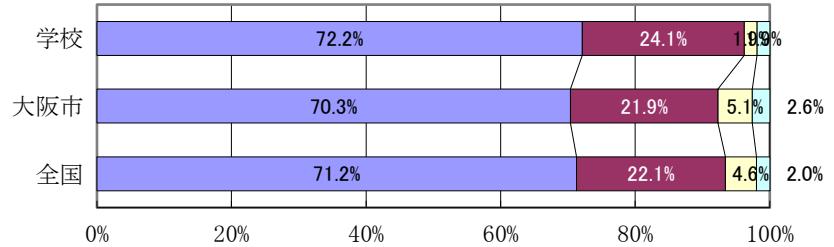
今後取り組むべき課題としては、一つ目は、女子の運動意欲の向上である。これについては、上に記したように楽しみながら運動できる環境づくりが必要である。二つ目は、低い傾向が続いている握力の改善である。これについては、上り棒や雲梯などの固定遊具を使った運動や遊び、腕立て伏せなどの補助運動を積極的に取り入れ、楽しみながら力を伸ばせるようにしていきたい。

## 運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

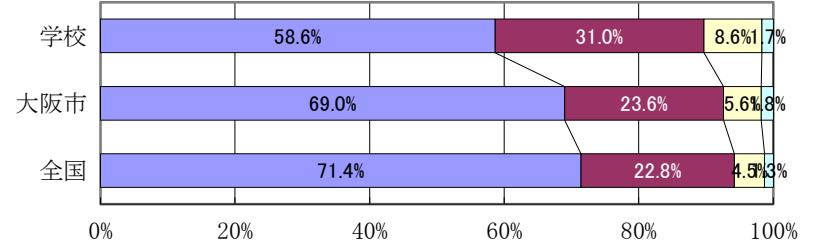
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



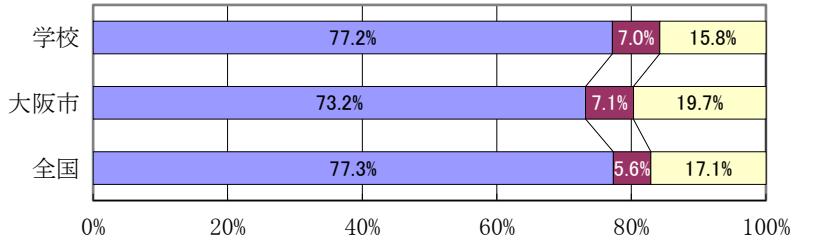
3

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか



4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



### 成果と課題

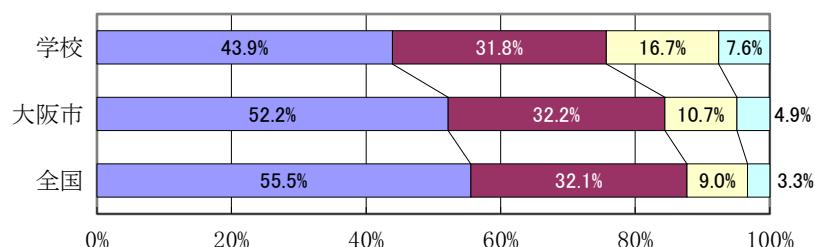
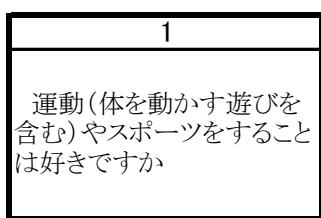
運動やスポーツをすることが好きと答える児童は全国・大阪市と比較すると上回っている。また、中学校に進んでも自主的に運動する時間を持ちたいと考えている児童も多いことから、授業改善や体力向上の取り組みを継続して行い、生涯体育につながるような内発的動機付けをおこなっていきたい。

### 今後の取組

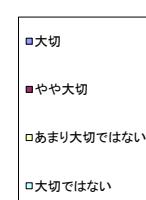
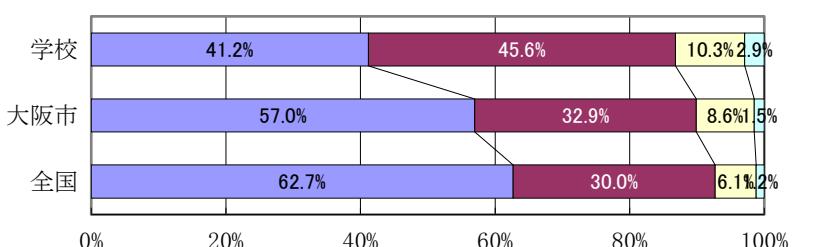
運動やスポーツをすることが好きと答える児童や中学校に進んでも自主的に運動する時間を持ちたいと考えている児童も多いことから、授業改善や体力向上の取り組みを継続して行い、生涯体育につながるような内発的動機付けをおこなっていきたい。

## 運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

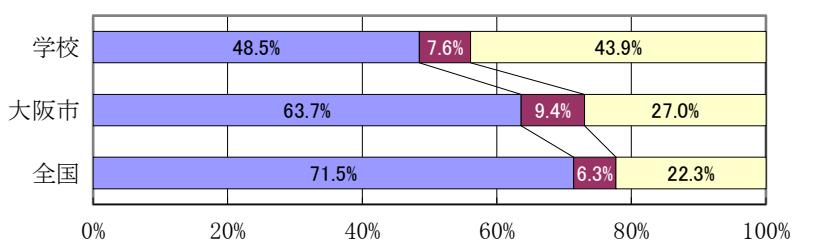


3



4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

運動やスポーツをすることが好きをはじめ、上掲のすべての質問において全国・大阪市比べて低くなっている。とくに、「中学校に進んだら自主的に運動をする時間を持ちたいと思いますか」においては、分からないと回答する児童が半数近くを占め、男子とは対象的な結果となっている。

今後の取組

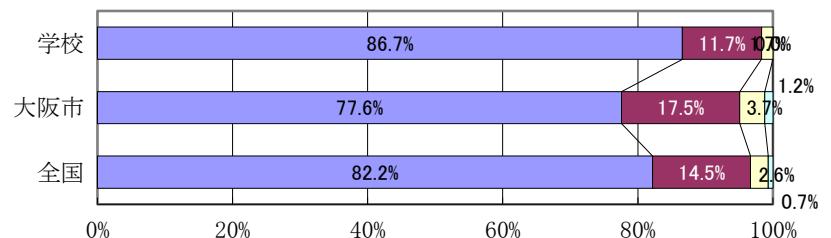
運動やスポーツをすることが好きや大切と答える児童やが多いことから、授業改善や体力向上の取り組みを継続して行い、身体を動かすことの楽しさをしっかりと味わわせ、生涯体育につながるような内発的動機付けをおこなっていきたい。

## ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

6

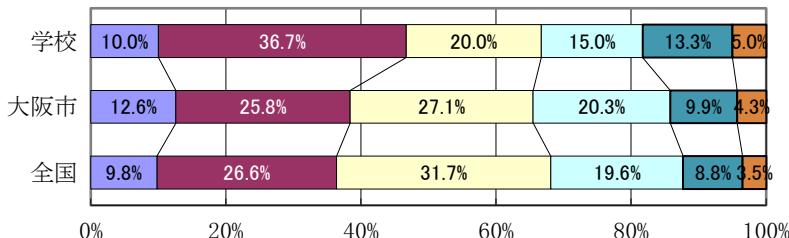
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



- 毎日食べる
- 食べない日もある
- 食べない日が多い
- 食べない

7

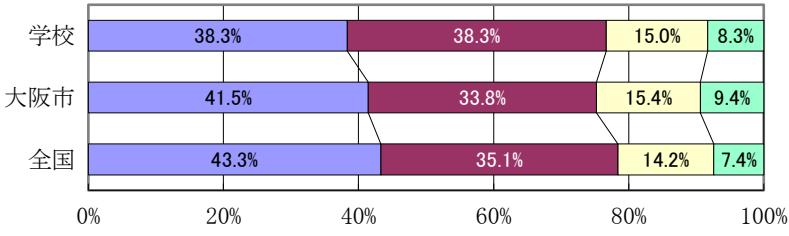
毎日どのくらいねていますか



- 10時間以上
- 9時間以上10時間未満
- 8時間以上9時間未満
- 7時間以上8時間未満
- 6時間以上7時間未満
- 6時間未満

10

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか



- よくある
- ときどきある
- あまりない
- まったくない

### 成果と課題

家庭の協力もあり、「朝食を毎日食べる」と肯定的に回答した児童は、全国・大阪市平均を上回っている。睡眠時間も8時間以上と答える児童が70%近くおり、概ね良好と思える。しかし、6時間未満の児童も全国・大阪市平均を上回っていることから、指導や支援が必要であると考える。

### 今後の取組

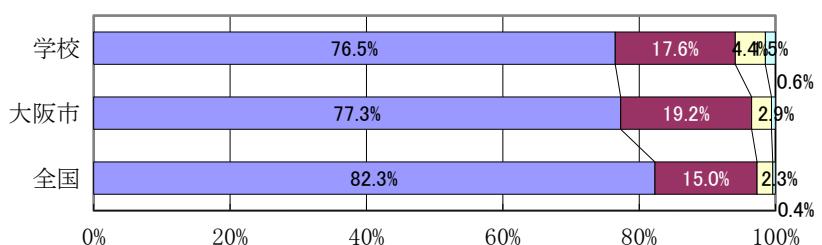
食育通信や給食だより、保健だよりなどを通じて「朝食の大切さ」をはじめとした健康の保持について啓発してきた結果、「毎日食べる」に対する肯定的な回答が昨年よりも改善したことから、今後も取り組みを継続していく。睡眠時間も8時間以上と答える児童が70%近くいるものの、少しずつ短くなる傾向が見られるので、指導や支援が必要であると考える。

## ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

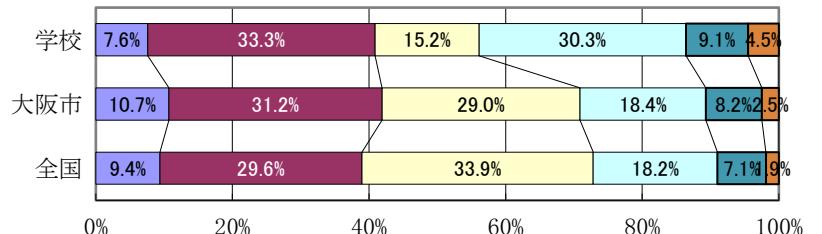
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含めます)



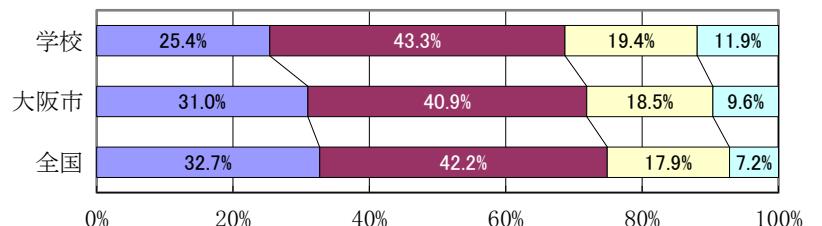
7

毎日どのくらいねていますか



10

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか



### 成果と課題

「朝食を毎日食べる」と肯定的に回答した児童は、全国・大阪市平均をわずかに下回っている。睡眠時間も8時間以上と答える児童は50%程度にとどまっており、男子と比較して短い傾向にある。また、6時間未満の児童も全国・大阪市平均を上回っていることから、指導や支援が必要であると考える。

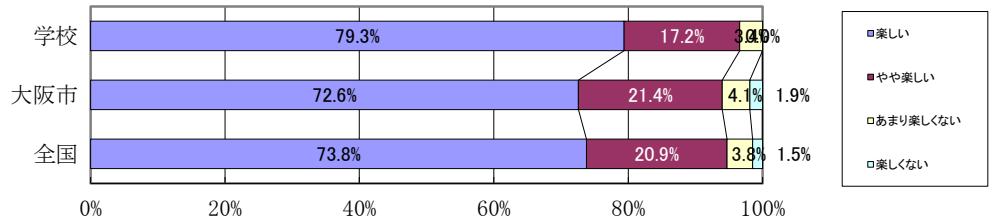
### 今後の取組

食育通信や給食だより、保健だよりなどを通じて「朝食の大切さ」をはじめとした健康の保持について啓発しているが、今後も取り組みを継続し、改善につなげていく。睡眠時間も短い傾向にあり、6時間未満の児童も全国・大阪市平均を上回っていることから、保健指導や個別の支援が必要であると考える。

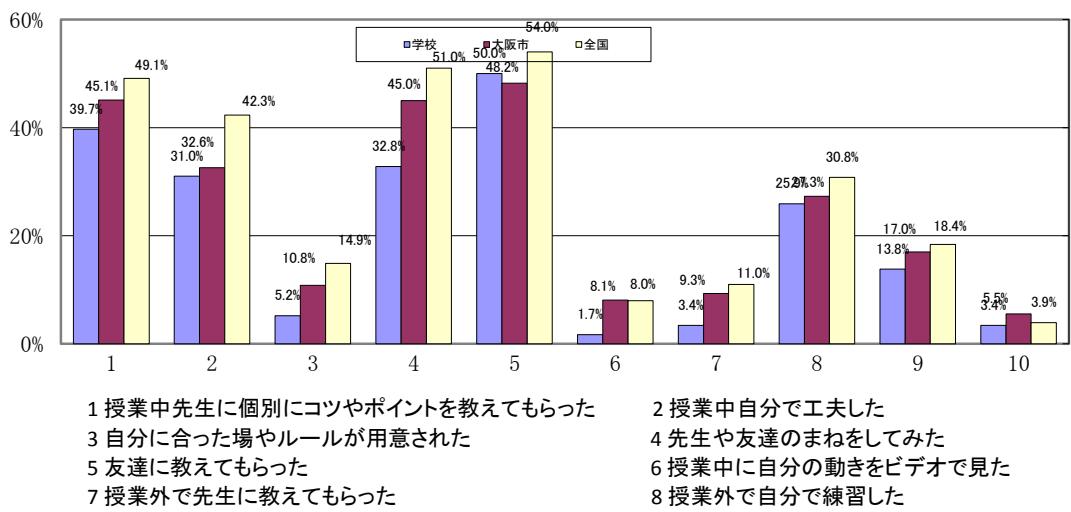
## 体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

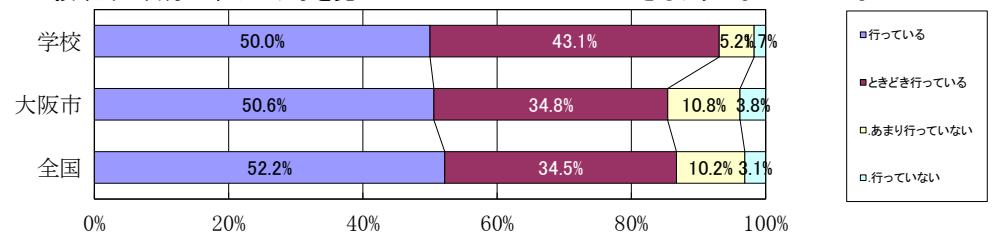
11  
体育の授業は楽しいですか



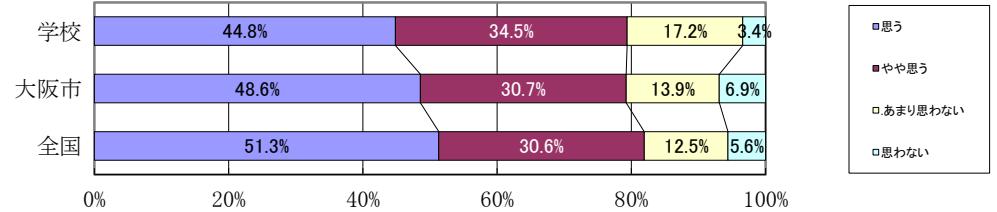
17  
これまでの体育の授業で「できなかつたことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



16  
体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか



21  
体育授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



### 成果と課題

95%の児童が「体育が好き」と肯定的に回答しており、全国・大阪市平均をわずかに上回っている。話合い活動についても肯定的な意見が高い割合を示している。その結果が、友だちや先生に教えてもらって「できなかつたこと」が「できるようになった」につながっていると考えられる。ただ、将来役に立つと思っている児童は、やや低い傾向を示している。

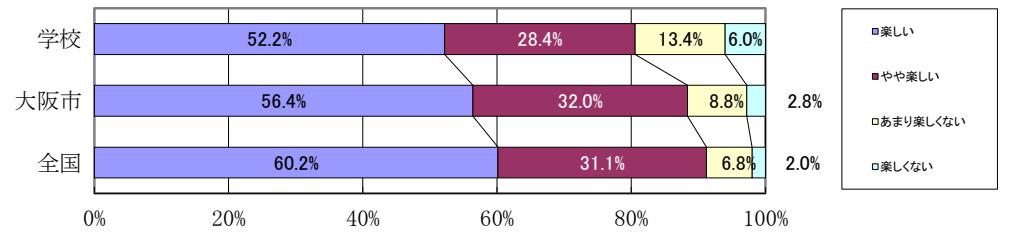
### 今後の取組

今後も、積極的話し合う活動を取り入れ、互いに認め合い、教え合うことで技能を高め、「体育が好き」という気持ちを持続させていく。さらに、将来、スポーツで身を立てたりするような形でなく、自分自身の健康の保持・増進につながるという意味で、「役に立つ体育(生涯体育)」につなげていきたい。

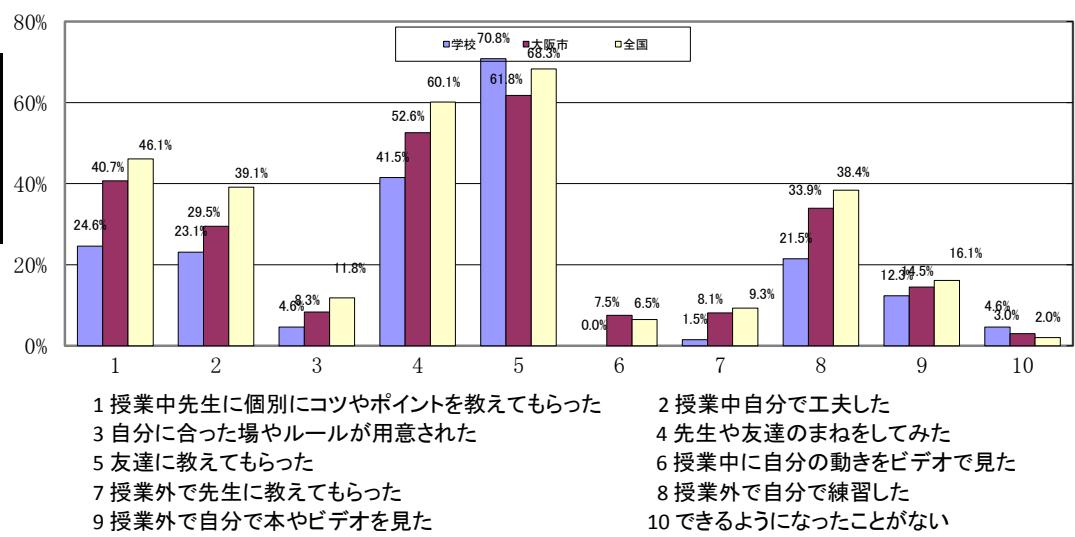
## 体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

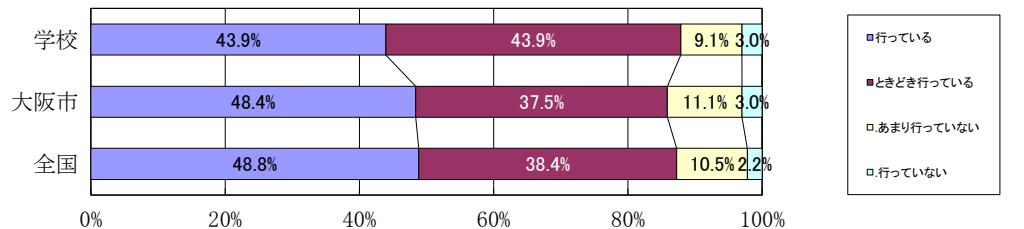
11  
体育の授業は楽しいですか



17  
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



16  
体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか



21  
体育授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



### 成果と課題

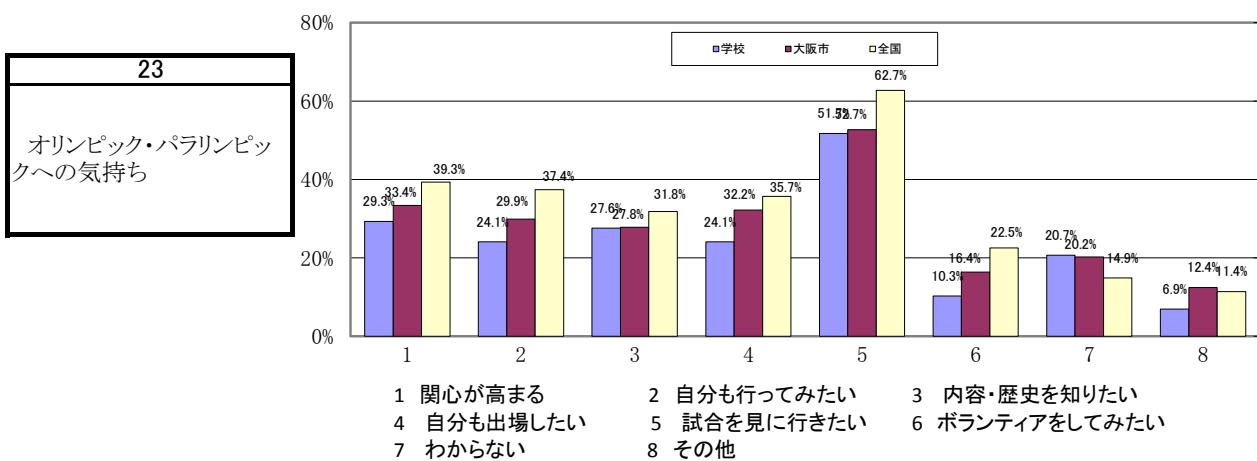
80%の児童が「体育が好き」と肯定的に回答しているものの、全国・大阪市平均を下回っている。話合い活動については、肯定的な意見が全国・大阪市平均と並んでいる。男子同様、友だちや先生に教えてもらって「できなかったこと」が「できるようになった」につながっていると考えられる。ただ、将来役に立つと思っている児童は、約半数にとどまっている。

### 今後の取組

男子同様、今後も、積極的話し合う活動を取り入れ、互いに認め合い、教え合うことで技能を高め、「体育が好き」という気持ちを向上させていく。さらに、将来、自分自身の健康の保持・増進につながるという意味で、「役に立つ体育（生涯体育）」につなげていきたい。

## その他（男子）

質問番号	質問事項
------	------



### 成果と課題

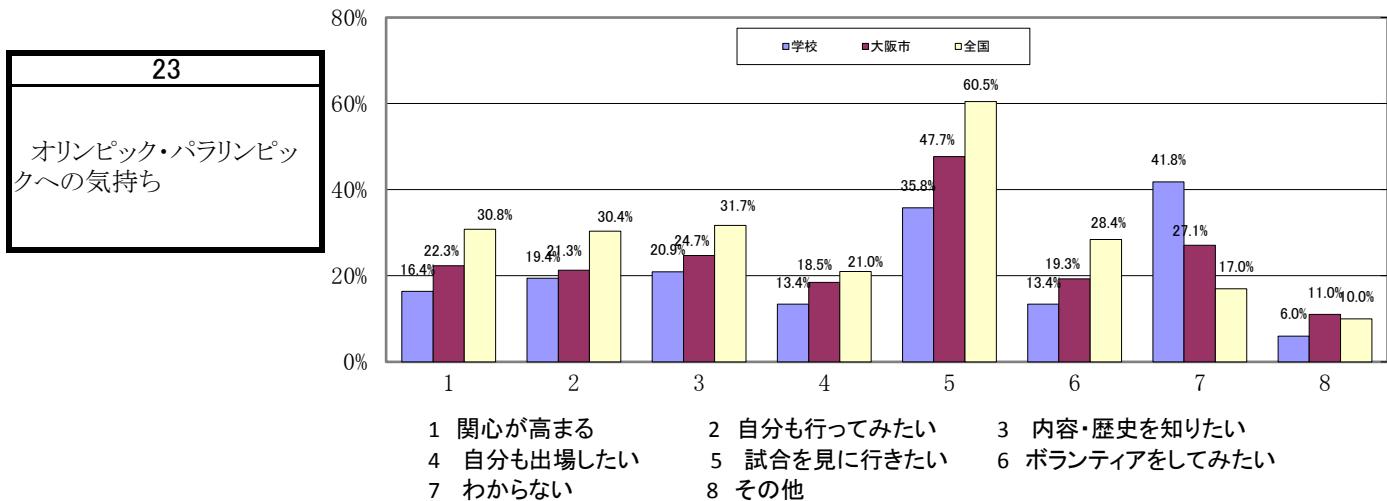
オリンピック・パラリンピックへの関心はあまり高いとは言えず、自分自身が出場してみたいと考える児童も少ない。「見に行ってみたい」と答える児童は約半数で、全国・大阪市平均を下回っている。大阪から遠いことやチケット入手の難しさも影響しているのではないかと考える。

### 今後の取組

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と答える児童が90%以上いることから、モチベーションの持たせ方次第では、様々ななことに挑戦する気持ちが芽生えるのではないかと期待する。今後の、取り組みの中でスモールステップ型の課題に取り組ませ、克服できた喜びを味わわせながら、望ましい方向へ導いていきたい。

## その他（女子）

### 質問番号 質問事項



### 成果と課題

男子と比べると、オリンピック・パラリンピックへの関心はさらに低く、「分からない」と答える児童が半数近くおり、あまり興味・関心がないという傾向がみられる。「見に行ってみたい」と答える児童も半数に満たない。いずれも、全国・大阪市平均を下回る結果となっている。

### 今後の取組

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と答える児童が90%以上いるが、「どちらかといえば」と考えている児童の比率が高く、あまり、肯定的とはいえない。今後は、この部分の底上げをめざし、取り組みの中でスモールステップ型の課題に取り組ませ、克服できた喜びを味わわせながら、望ましい方向へ導いていきたい。